



させほ夢大学

発行●公益社団法人 させほ夢大学
編集委員会
事務局／〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
http://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

夢のつづき

させほ夢大学会報

No.266 (2018・2)

平成29年度
第10回

2018年 **2月15日(木)**

アルカスSASEBO 大ホール

●開 場 午後5:30

●講 演 午後6:30

今回は、作曲家・指揮者・ピアニストの青島広志さんと、テノール歌手 小野 勉さんをお迎えます。

青島さんは、日本テレビ「世界一受けたい授業」やNHK「ゆかいなコンサート」などで、ユーモアたっぷりのおしゃべりと茶目っ気あるパフォーマンスで、私達に「楽しいクラシック音楽入門」に誘ってください。

東京藝術大学および大学院修士課程を首席で修了され、修了作品のオペラ「黄金の国」（原作：遠藤周作）は、東京都芸術フェスティバル主催公演となりました。

作曲家としては、オペラ、合唱曲、管弦楽曲、ミュージカルなど、その作品は200曲に及びます。

ピアニスト・指揮者としての活動は45年を迎え、近年では、コンサートやイベ



写真提供：Gakken Plus

ントのプロデュース、テレビ・ラジオ出演、大学で教鞭を執るなど、多面にわたる活動は更に広がっていらっしゃいます。

著書も数多く『モーツァルトに会いたくて』『音楽家ってフシギ』など、楽しいタイトル、軽妙な筆致で人気を得ています。



小野 勉さんは、高校で入った合唱部がきっかけで、音楽の道へ進まれました。偶然に青島さんに見出され、オペラ「黄金の国」でオペラデビュー。

童謡からオペラアリアまで、青島さんプロデュースの舞台や様々な場所でその歌声を提供しています。

さあ「青島ワールド」開演です。温かいひとときをお過ごしください。

講 師 ● 作曲家・ピアニスト 指揮者 **青島 広志さん** / テノール歌手 **小野 勉さん**

テーマ ● (おそらく) 一回だけのコンサート



次回のご案内

- と き / **4月19日(木)** [開講式]
- 講 師 / 元 駐中国大使・前 伊藤忠商事取締役会長
にわ たいちろう
丹羽 宇一郎氏
- テーマ / **死ぬほど読書**

●1939年愛知県生まれ。名古屋大学法学部卒業後、伊藤忠商事㈱入社、のち1998年社長、2004年会長として同社を再建。2010年6月～2012年12月民間人初の中国大使として中華人民共和国駐留特命全権大使を務めた。現在は早稲田大学特命教授、グローバルビジネス学会会長、公益社団法人日中友好協会会長を務める。「人は仕事で磨かれる」「危機を突破する力」「人を育てよ」「人類と地球の大問題」等著書多数あり。「死ぬほど読書」も好評。

今回、「夢のひろば」はありません。

青島広志さんのプロフィール

●1955年東京都出身。東京藝術大学大学院修士課程を首席修了。作曲家としての作品は「火の鳥」「黒蜥蜴」等200曲を超える。ピアニスト・指揮者としての活動も45年を迎え、最近ではコンサートやイベントのプロデュースにも携わっている。NHKラジオ「みんなのコーラス」やTV「題名のない音楽会」「たけしの誰でもピカソ」等にも出演。

小野 勉さんのプロフィール

●都立八潮高校卒。青島広志氏に見出され、オペラ「黄金の国」でデビュー。2001年第12回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門で第3位入賞。童謡からオペラアリアまで幅広いレパートリーを持つ。





石原良純氏



美しい地球を次世代に

北松浦郡佐々町 法本 安子

今日の夢のひろばは、邦楽演奏。お正月の風物詩、定番曲である「春の海」。素晴らしい尺八と箏の生演奏に、思わず心の中でプラボーと叫びたい感動でした。

さて今日は「石原良純大いに語る」というテーマでの講演。石原氏といえは、あの華麗なる石原ファミリアの一人。ダイクスツで思いのほか派手さはなく、タレントで異色の気象予報士の顔でテレビ番組でみるそのままである。

楽しく生きることをモットー



■「無駄なことをするのは大事。無駄に動いた時間がエネルギーになる」との石原氏のお話。これは多分野に通じる真理とと思います。

例えば、営業の世界で光輝くトップセールスマンは、価値ある無駄(セールス先での居留守や無視や断り等)の地道な積み重ねの先に成功(成約)が待っている事実を知っています。「一番多く断られた営業マンが、トップセールスマン」と言われる所以です。

佐世保市早苗町●牧 千尋

■石原さんは初めて佐世保に来られたのに、真っ白なPM2.5の空じゃ残念だったのでは？青い空を返してと言いたいです！それにしても、流暢なおしゃべりとお話に情熱を感じました。

佐世保市皆瀬町●石橋 昌子

■新春にふさわしい箏と尺八の音色で始まり、又、気を引き締め、新たな姿勢を保った本日の講演会でした。講師の石原氏、はっきりと良く通る声で、ご自身の事、自分のまわりの方々が皆「せんせい」と呼ばれているとお話。育った横須賀の基地がやっぱり佐世保の街にもあるのかなあと、到着後すぐにジョギングをされる等、どこまでも自分を貫いていらっしゃるのだなあと感じました。これからもメディアでお顔を拝見できることを楽しみにしています。

佐世保市赤崎町●木村 典子

寒い1月の夜
やがて春が来る
桜の花を見よう
あなた(彼方)の空を見よう
そして雲を見よう
それは浮雲かな……

佐世保市東浜町●池田 ヨシ子

■夢のひろばと舞台のお花でお正月の気分を味わってもらい、幸せな気分でいっぱいになりました。石原さんは颯爽と登場され、いろんな話をされました。気象の話、自分の家族の話などを歯切れ良く話されて、あっという間に時間が経ちました。いろんな方面で活躍されて、TVで見ている姿と変わらない姿に元気をもらいました。

佐世保市大宮町●田中 美祐

■最近、テレビのバラエティー番組で石原さんをよく見かけますが、気象予報士としても活躍するなど、まさしくマルチタレントさんでした。話に嫌みがなく、洗練されており、偉大な父親の面影が垣間見えました。

佐世保市光月町●国松 仁志

■平成30年の幕開けの花題は「躍進」とのこと。正月らしい作品を傍らに琴と尺八の和の競演に、日本に生まれて良かったと心底思う。近頃のゲリラ豪雨や竜巻、40度を超す暑さに、気象が人間に対して荒くなったと私も思う。

空は一変すると牙をむく。地球が人類に警告を鳴らしているようだ。情報は情報として、我が目で自然や空の異変に気づき防災に備えたいと思う。

佐世保市有福町●吉田 絹代

■テレビで見ると同じように、明るい良純氏。4人の「先生」に囲まれていることなど、楽しく話され笑いました。俳優になりたての頃、基本の大切さを教えられて、それが今の仕事につながっていること。タレントの他に気象予報士を続けられており、災害の多さを話されました。

これからの日本や世界の空が、いつまでもきれいだであることを考えなければと思います。

佐世保市木風町●西 照美

に、講演前には、市内の海辺をジョギングしたことも明かされた。幅広い知識と、見聞、人脈、石原軍団の人たちとの交流などのよもやま話は味のある90分でした。

気象予報士試験を受けるまでのエピソード。空の楽しさを伝えたいと、お天気キャスターへ。今の時代、情報の海にさらされて私達、テレビにスマホと近いところばかり見る癖がつき、だからこそ遠い空を見てリラックス、どこにでもある身近な空、自然を楽しもうと提唱された。

空を、見よう。この美しい地球を次世代につなぐ為、今私たちが出来ること、しなければならぬことを、考えてみよう。

照る日 くもる日 楽しんで

佐世保市大塚町 富永 八重子

平成30年明けましておめでとうございます。うごきます。

「春の海」の調べの中、「躍進」というテーマのお花がとてもきれいでした。紅白をイメージしたアンスリムと白百合を若松が引き立てています。

さて本日の講師は石原良純さん。オーソドックスなスーツ姿は好青年というイメージ、会場はたちまち拍手と笑いにつつま

れました。その後、一滴の水で喉を潤すこともなく、熱き思いを語って下さいました。

サラブレッドの血筋を持つお坊ちゃま、湘南ボーイなどのイメージとは裏腹に人の道を模索するひとりの青年の苦悩と軌跡、彼なりのシビヤな心の方向性のこと、御家族、芸能生活のことは面白く拝聴いたしました。

最後はやはり気象予報のことでした。スマホやインターネットで何でもわかる今にして、自然の変化に満ちた気象の不思議に挑もうとしている彼の視点に脱帽です。仮に人生百年としても、自分の目標に向かって進む

空を見よう！ 日本の空は美しい

講演を聴かれた感想をお待ちしています！

※締め切りは講演日の1週間後(必着)
※宛先は、させほ夢大学事務局まで

だけで精一杯、とうてい答ま
は通りつけないというのがほと
んどですよ。でもそれだから
こそ人生はおもしろいのかもし
れません。何かに熱中しその真
中にあるいている良純さんは青
春そのものです。良純さんは、
うちの家族は先生ばかりでと言
われましたが、生徒でいること
の方がずっと素晴らしいことな
のですよ。

「いくつになっても新しく
究めたいことあり 心ときめ
く」私の大好きな言葉のフレー
ズが心をよぎった感動の夜でし
た。
良純さん、又ぜひ佐世保にい
らして海軍の記念館を見られ
たり、海沿いの径を走ったりし
て下さいね。

時間を守る事、挨拶をする事

佐世保市大宮町 吉次 公子

今日はどこに座ろうかと会場
に入った時、まず舞台の一月の
お花に目を奪われました。

そして「春の海」「越天楽、
君が代変奏曲」と、邦楽の演奏
に新春を寿ぐそんな気持ちを一
杯感じられました。

時間がある時は走ります。今
日も川に沿って走りましたと、
スターとして又気象予報士の講
師石原良純氏のお話が始まり
ました。

石原プロにいた時、まず叔父
石原裕次郎に言われた言葉は
「時間を守る事」「挨拶をする
事」この二つの言葉だったと、
御家族の事など交えながら話さ

れました。この二つの事は私達
みんなに共通する大切な言葉だ
と思います。

スターとしても活躍。そし
て、地球温暖化の影響による
様々の現象が現れている時代、
気象予報士として色々研究をさ
れている事等。かつて『三寒四
温』『暑さ寒さも彼岸まで』『夏
の夕焼け、川越して泊まれ』
『秋の夕焼け、鎌研いで待て』
とか、天候に対する言い伝えや
ことわざがあり、それが庶民の
生活の一助になっていた様です
が、今は気象予報なしでは色々
な計画が出来ない時代だとつく
づく感じます。有り難うござい
ました。ご活躍をお祈り致しま
す。

正確な情報をわかり易く

佐世保市京坪町 太郎浦 幸子

小正月の名残と申すべきか舞
台の設えは「躍進」という花題
の下、素晴らしいお花のいけ込
みで邦楽演奏と絶妙な調和を見
た。

笑顔での理事長様のご挨拶
に、27期の講師決定に至るまで
の筆舌につくせぬご苦労をクリ
アされたその安堵感を感じた。

本当にご苦労さまでした。
綽名を「眉毛」と言われると
の紹介で登壇された氏は精神そ
のものに映った。タレントとし
てのお話もさることながら私に
とっては気象予報士としての話
に引かれた。「空を見よう！」
と仰る。地球上にある水、空気、
水の動きで雨が降ったりする。

「先人の教えだけでは駄目で、
常に新しい科学的根拠のもと、
多くのデータをもとに、より正
確な情報をわかり易く伝える」
とのお話に納得！

科学の力、お天気は！

西松浦郡有田町 庄村 雅子

海辺の近くで暮らして、空を
見て疑問をもたれ気象予報士に
なられた石原さん。なるほどと
思いました！

石原プロで時間を守れ、挨拶
をせよとのアドバイスは当然な
がら、周りの人たちの中にはこ
ちらから挨拶をしても知らん
顔、時間にルーズな人が多く見
られます。色々な人との出会い
が、これまでに影響を受けて、
テレビ、舞台、映画などですば



菊の会(争、十七絃)と西山会(尺八)の皆さんによる演奏

らしい演技をされているのです
ね。若い時、無駄に思えた時間
が今は大事な時間だったと、私
も時々そのように思います。多
忙な暮らしでイライラした時、
私はベランダに出てお月様にグ
チをこぼします。満月の夜は空
を見上げて感謝の言葉をかけま
す。空は海より広い、山は海よ
り高いのは当たり前のことだけ
ど全然気づかないで空を見上げ
ていました。

今年の冬はとても寒く、東北
地方は大雪の日が続いて大変だ
と思います。地球温暖化の影響
でしょうか？お天気は、科学
の力ではどうにもならないよう
ですね。

好奇心を持ち続けて

佐世保市梅田町 森 洋子

石原氏の講演当日の早朝、西
日本の広い範囲で「夜行雲」が
観測された。銀色や赤に輝く、
オーロラと見紛うこの雲は、イ
ブシロンロケット3号が大隅半
島から打ち上げられた事により
発生した特殊な雲だそうだ。残
念ながら、私はこの雲を見上げ
ていない。佐世保でも見えたの
だろうか。気象予報士としても
知られる石原氏だったら、見逃
さなかつたに違いない。

氏が俳優になったのは、叔
父・裕次郎のお見舞いに行つて
たままスカウトされたから。
石原プロダクションでは、最年
少として理不尽な(?)可愛がら
れ方をするが、今となっては古
き時代の良い思い出。

歳の初めはキレキレの



ヨシズミ節で大笑い！

お天気キャスター森田さん
の出会いがあり、子供の頃から
山にかかる雲を見て不思議に思
っていた氏の好奇心が、気象予
報士として結実する。最初は固
辞していたお天気キャスターか
ら始まり、バラエティ番組でも
活躍するようになる。

音楽的才能だけは絶対にな
いと思ひ込んでいたのに、テレビ
番組出演をきっかけに、趣味の
一つにまでなつてしまつたウク
レレ演奏。石原氏からは、好奇
心を持ち続け、なにごとにもま
ずは受け入れてやってみよう、楽
しんでみようという精神があふ
れていた。とかく効率や合理性
を求める現代で、氏は、ゆっく
り空を見上げる事や、町中を自
分の足で走るのも良いものだ
と熱く語られた。近年、気象の異
変や環境問題を実感しているも
のの、日本の空はまだまだ美し
いそうだ。さあ、私も上を向
いて歩こう。



させぼの歴史は謎がいっぱい

〔十歩〕

佐世保は文学的か？ 九十九島、佐世保を詠んだ句と人々。

小川照郷

「弓張岳は 弦なし矢なし ただ空見
てる 梯子をかけて お天道さんに
矢と弦もらへ」

昭和二年（1927）、野口雨情が
即興で歌った詩。

「九十九島の 一つの島に 明易き」
俳人青木月斗が、夏のなかなか暮
れない九十九島を詠んだ。

「ランプの明り カンテラの 灯かけ
煙れるせりうりの 夜店の中に 一段
と 聲はりあぐる瀬戸物屋。早来い、
早来い、品物はみんな」

由色、て句
は時、く句
火を、遠名
頭人。保はど
山俳。世はど
田の。佐とど
種律。いふの芽
残した。



四十年前、帰郷してすぐのころ、
「佐世保はへいそう文化だ」という言
葉をよく耳にした。すぐには意味が
判らず、日本の西の端だから文化が
閉塞しているのか、と考えた。
やがて、「兵曹」という兵隊の階級
だと知る。兵からようやく兵曹になっ
たが、士官ではないという意味だ。戦
前からそんな卑下した比喩があった。
戦前の文学界には佐世保出身とし
て吉田紘二郎があり、戦後は井上光
晴、白石二郎、村上龍、佐藤正午と多
く小説家を輩出している。漫画アニメ
では驚くほど佐世保出身が多い。自
由な表現を生み出す街だと思おうと、
兵曹文化と卑下することはない。

文化は文学に限らないだろう。
九十九島や、街を包む烏帽子岳や国
見岳、将冠岳の風景も、立派に文学的
ではないか。山を歩きながら、またカ
ヤツクを漕ぎながら筆者は思う。

「七十に近き春にぞ あひの浦

九十九島をいきの松原」

文化九年（1812）、伊能忠敬が
九十九島を測量したときに詠んだ句。

の佐世保の印象が鮮やかに描かれて
いる。

昭和七年（1932）、自由律の俳
人種田山頭火は、五十歳のとき佐世
保の春を歩いた。

「ふるさは 遠くして木の芽」
「骨となつてかへつたか サクラさく」
「物乞ふと シクラメンのうつくしい
こと」

山頭火は戦争の臭いがする佐世保
を、早岐から相浦へと行乞している。
佐世保駅前にあった潮湯に入り、踊
り子のレヴューも楽しんでる。



碑。句の斗月。北小
ない人も上り
九十九島にひ
立つ。

これは夜店の賑わいを与謝野が書
いたもの。

明治四十年（1907）の夏、東京
から若き五人の詩人が立ち寄った。与
謝野寛（鉄幹）、平野万里、吉井勇、木
下空太郎、北原白秋である。

「佐世保は思いのほか不格好な街
である。一点ぼたりと落ちた墨が、次
第に左右へ広がって行くように、一軒の
家が次第に膨らんでいって、この街を
形づくったのであろう」

九州を紀行して新聞に書いたのが
「五足の靴」である。そこには当時

「華はうつくしい、ああいふものを
観ていると煩惱即菩提を感じる」と
日記に残した。海軍の色合いが強い街
に、少しばかり眉をゆるめている。
そして「日本百景九十九島。うつく
しいといふ外ない」と感謝の言葉を残
して、平戸への放浪の旅を続けた。

以上の「十歩」で「させぼの歴史は
謎がいっぱい」は終わり。お読みいた
だき感謝します。最後の謎は、彼らはな
ぜ佐世保に来たのか？そして、どう思
ったのか？

事務局だより

★石原良純さん、ありがとうございます
ございました

新しい年の幕開けにふさ
わしく、伝統的な箏と尺八
の雅やかな演奏に続いて登
場された石原さん。気さく
でかざらない方でした。

講演では、俳優としての
お話の他、環境や防災にも
関わる気象予報士として
「空を見上げることを勧め
られました。気象を通して
宇宙や地球にも思いを馳せ
ることや、自然環境の大切
さを再認識する機会を頂き
ました。

★ご執筆ありがとうございます
ました

毎回好評の、小川照郷さ
んのトレッキングエッセイ
「させぼの歴史は謎がいっぱ
い」は、今回で終了しまし
た。宗家松浦家と平戸松浦
家の攻防、美しき天然、郷
土と様々な文化人との関わ
り等、興味深い歴史を学ぶ
ことができました。一年間
ご執筆頂き、ありがとうございます
ございました。

★来年度は、「西海の霸王」
の著者である和田隆さんに
よる「ふるさと吉井紀行」で
す。どうぞご期待ください。

★館内の空調について

アルカスSASEBO大ホ
ールの空調は、部分的な調
節ができません。座席の位
置によっては暑く、又は寒
く感じる場合があります。
みなさん十分な準備をされ
た上でご出席ください。

★平成30年度の受講生募集 について

今回も、定員の2,000
名を大幅に超えるご応募を
頂き、ありがとうございます
ました。コンピューターによ
る厳正な抽選結果は2月中
旬頃お届けする予定です。
今しばらくお待ちください。

なお、当選された方は、
当選通知に同封の払込取扱
票で、期限の2月26日(月)ま
でに郵便局よりお振り込み
ください。期限までにお振
り込みがない場合は、キャ
ンセル待ちの方を繰り上げ
当選としますので、ご了承
ください。期限までに振り
込みをされた方には、3月
中旬頃に「銀色の学生証」を
お届けする予定です。

★落とし物について

前回の講演会で、オペラ
グラスの落とし物がありま
した。事務局でお預かりし
ていますので、お心当たり
の方はご連絡ください。